

# 利用例 - 訪問リハビリとの連携 -



小規模多機能ぼやあ樹では、毎月、地域の病院や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、介護老人保健施設など、さまざまな機関の皆様よりご相談をお受けしております。

そこで、実際にぼやあ樹へご利用となられたケースの中から、リハビリ支援の一環として訪問リハビリと連携して自宅生活をサポートさせていただいた例を紹介させていただきます。



## Aさん: キーワード【**独居、理学療法による訪問リハビリ**】

【ポイント】Aさん本人は自宅での生活を希望している。また、入院中には病院で歩行や筋力向上のリハビリを実施しており、退院後も現状の身体レベルを維持するためにリハビリの継続を希望。そのため、小規模多機能での生活支援に加え、訪問リハビリ(理学療法)とが連携して在宅生活の支援を実施。

	月	火	水	木	金	土	日
サービス	デイサービス	AM: <b>訪問リハビリ</b> PM: <b>訪問</b>	<b>訪問</b> 1日2回	デイサービス	<b>訪問</b> 1日2回	デイサービス	<b>訪問</b> 1日2回
医療サポート内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回午前中 <u>自宅にて理学療法士による訪問リハビリ</u>を実施。 →ぼやあ樹が週4回実施している訪問サービスと同様に、安否確認も兼ねてリハビリ支援を実施。 午後はぼやあ樹にて訪問サービス(安否確認)を実施。</li> <li>・訪問リハビリより、介護職員でもできる<u>簡単な運動プログラム</u>などを提案してもらい、デイサービス利用中にぼやあ樹にて実施する。</li> </ul>						



## Bさん: キーワード【**家族同居、言語聴覚士による訪問リハビリ**】

【ポイント】Bさん本人は、就労の子供(50代)と同居しており、お互いに在宅生活を希望している。しかし、家族としては転倒など日中自宅で1人になることに不安あり。また、疾患により軽度の失語症もあるため、なるべく人と接したり話す機会をもつとともに専門によるリハビリの希望があったため、小規模多機能での生活支援に加え、訪問リハビリ(言語療法)が連携して在宅生活の支援を実施。

	月	火	水	木	金	土	日
サービス	デイサービス 9~18	AM: <b>訪問リハビリ</b> PM: <b>デイサービス</b>	デイサービス 9~18	デイサービス 9~18	デイサービス 9~18	デイサービス 9~18	休み (利用なし)
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回午前中 <u>自宅にて言語聴覚士による訪問リハビリ</u>を実施。 →ぼやあ樹が週4回実施している訪問サービスと同様に、安否確認も兼ねてリハビリ支援を実施。 <u>訪問リハビリが終了する頃にぼやあ樹からデイサービスの送迎をして1人の時間を無くすようにする。</u></li> <li>・訪問リハビリより、介護職員でもできる<u>簡単な訓練プログラム</u>などを提案してもらい、デイサービス利用中にぼやあ樹にて実施する。</li> </ul>						